

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-19	小学校	社会科	社会	第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	社会 303	小学社会 3		

1. 編修の基本方針と特色

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（第二条の第1～5号）」と、学習指導要領に示された「教科目標」を達成し、社会科のねらいである「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力の基礎を育成する」ことを目指して、以下の方針に基づいて編修しています。

目指す
社会像

◆持続可能な社会

人間が尊重される平和な社会／公正で公平な社会／多様性を尊重する社会／将来世代に配慮する社会／生態系に配慮する社会

目指す
子ども像

◆知識基盤社会において必要な幅広い知識と柔軟な思考力をもち、自ら問題を解決しながら、よりよく生きていこうとする子ども。

教科書
の特色

◆地域と国土のすがた、社会を成り立たせているしくみとその来歴を、そこに生きる人たちに共感しながら、確かにとらえることのできる教科書。

◆問題の解決に向けた主体的な追究や学び合いに効果的に活用することのできる教科書。

特色1. 問題解決的な学習の進め方が身につく教科書

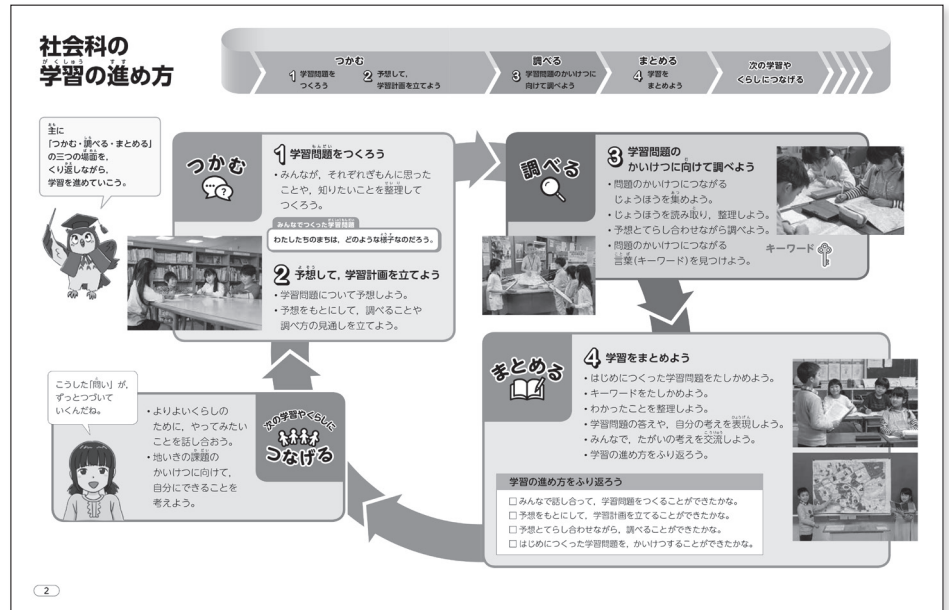
特色2. 知識や技能の確かな習得のもとに思考力・判断力・表現力を育む教科書

特色3. 公民的資質の基礎を培い社会参画への意欲を高める教科書

特色 1. 問題解決的な学習の進め方が身につく教科書

▶社会科の学習の進め方 (p.2)

各学年の巻頭に、問題解決的な学習のわかりやすい見取り図を示しました。そして、追究の帰結は、次の学習へとつなげるだけでなく、地域や社会にみられる課題の解決に生かしていくことを示唆しています。



- 身近な社会的事象との関わりの中から子どもたちが自ら問題を見だし、その解決に向けて考え合い、表現し合いながら主体的に追究していくことができる構成・展開にしています。
- 子どもが意欲を高めながら学習問題を追究していけるように、魅力的で価値のある導入教材を掲載しました。
- 追究の過程で子どもたちを適切に支援する技能や知識、設問などを配置し、より豊かで確実な学習成果に結びつけられるようにしました。

特色 2. 知識や技能の確かな習得のもとに思考力・判断力・表現力を育む教科書

- 問題解決に向けた追究を進めていくうえで必要となる基礎的・基本的な知識や技能を明確にし、子ども自身がそれらを確認め、整理しながら身につけていけるようにしました。
- 必要な情報を集めたり、的確に読み取り解釈したり、効果的に表現したりする技能を、ステップ・アップを考慮しながらわかりやすく説明しています。
- 多様な表現活動を通して学んだことを共有化しながら、さらに思考を深めることができるようにしています。

特色 3. 公民的資質の基礎を培い社会参画への意欲を高める教科書

- 文化財や文化遺産、先人の活躍に関わる内容を豊富に掲載し、それらを手がかりにして日本とその文化に対する理解を深め、愛情を育むことができるようにしました。
- 暮らしの改善や伝統的な文化の継承、持続可能な社会に向けて児童なりに選択・判断したり、地域や社会の「これからの発展」について考え合ったりする活動を通して、社会の変化に向き合い、主体的に参画していく力を育成します。
- 社会の成り立ちや人々の努力について理解を深め、「持続可能な社会」の実現に向けて考え、行動していくうえでの基礎を培うことができるようにしました。

いちばん大切だと考えたこと

家に、
火災けいぼう器を
取りつけること。



その理由

家に火災けいぼう器を取りつけることが、法りつで決められているからです。火災けいぼう器は、熱やけむりが発生すると、大きなブザーが鳴って知らせてくれます。火事に早く気づくことで、自分の家だけでなく、まわりのたてものなどを守ることもつながります。

▲地域を火災から守るために取り組むべきことを選択・判断 (p.111) 地域を火災から守るために取り組むべきことを、児童なりに選択したり判断したりする活動を、学習をまとめる場面に位置づけて、社会参画に向けて関心や意欲を高めることを促します。

ゆうまさんたちは、これから市が取り組もうとしていることについて調べ、市がどのようにかわっていくのがよいか、みんなで話し合ってみました。

わたしは、お年寄りやしょうがいのある人などに、べんりなせつがふえとうれしいな。



ぼくは、かんきょうによい電車やバスが使われるようになってほしいな。地いきの自然やかんきょうを守ることが大事だよ。

さくらさんの考えに、さんせいです。一つつけると、外国の人がもっとふえて、交流できるといいと思う。これからは楽しみね。



これからの横浜市に大事だと思うこと

これから市の人口がへっていくそう。その中でも、赤ちゃんやお年寄り、しょうがいのある人や外国の人などの他に、どんな人の生活も大切にしたいと思う。なぜなら、家の近くに公共せつや店がない人や、電車やバスが通っていない人がいるからだ。人口がへると、公共せつや交通がどうなるのか、みんなのくらしがどうかわるのか、これからも考えてみたい。

みんなで考えた。これからの市のすがたを、年表の右はしに書き足してみよう。



▲市のこれからの発展を構想 (p.155) 自分たちの暮らす市が、今後、どのように発展していくべきだと考えるのかを児童なりに構想して表現する活動を、学年の学習の最後に位置づけて、社会参画に向けて関心や意欲を高めることを促します。

2. 教育基本法との対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
全体	• 学習の問題をつくり見通しを立てる場面を丁寧に例示し、問題解決的な学習の進め方に対する理解を深めて自ら取り組むことができるようにしました。(第1号)	p.10-11, p.22-23, p.48-50, p.66-67, p.96-97, p.114-115, p.130-131, p.142-143

図書の構成・内容		特に意を用いた点	該当箇所
巻頭：生活科をふり返ろう 社会科の学習の進め方 社会科の見方や考え方 他の教科とのかかわり		<ul style="list-style-type: none"> 社会科への接続という観点から生活科の代表的な学習場面を想起させるコーナーを設け、両教科の接続がスムーズに図れるようにしました。〈第1号〉 「社会的な見方・考え方」を、子どもの問いや発言のかたちで例示したコーナーを設け、社会的な見方・考え方を使った学習を意識して進めることができるようにしました。〈第1号〉 社会科と他教科の連携を図りながら学習を進めていくイメージをもつことのできるコーナーを設け、カリキュラムマネジメントに基づいた学習への活用を図ることができるようにしました。〈第1号〉 	p.1 p.3 p.3
1 わたしたちのまちと市	1 まちの様子	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入部に生活科で行った地域の探検活動を想起する活動場面を設け、身近な地域に対する関心や愛着を高められるようにしました。〈第5号〉 身近な地域で役割を果たす多様な人々から話をきき取る活動場面を多数設けて、職業と生活との関わりを考えたり、勤労を重んずる態度を養ったりすることができるようにしました。〈第2号〉 身近な地域の公共施設やそれらの場所で働く人と触れ合う活動場面を設けて、公共の施設や仕事を理解し関心高めることができるようになりました。〈第3号〉 	p.6-7 p.6-39 p.12-13
	2 市の様子	<ul style="list-style-type: none"> 児童らが暮らす市内の自然条件や土地利用、緑地の景観や分布に注目する学習場面を設けて、自然や環境に対する関心や愛着を高められるようにしました。〈第4号〉 児童らが暮らす市内に古くから残されている建造物や街道などに注目して調べる学習場面を設けて、地域の伝統と文化に対する関心や愛着を高められるようにしました。〈第5号〉 学習をまとめる場面には、市内の特色ある地域をポスターにまとめて紹介する活動を例示して、身近な地域に対する児童の関心や愛着を高めることができるようにしました。〈第5号〉 児童が興味や関心に応じて活用する「ひろげる」コーナーを設け、地図や地図記号に関する知識を広げたり理解を深めたりすることができるようにしました。〈第1号〉 	p.30-31, p.32-33 p.15, p.36-37 p.38-39 p.40-41
2 はたらく人とわたしたちのくらし	1 店ではたらく人と仕事	<ul style="list-style-type: none"> 児童らが暮らす市内の様々な仕事や勤労者を想起する活動から学習を導入する展開として、職業と生活との関わりを考えたり、勤労を重んずる態度を養ったりすることができるようにしました。〈第2号〉 	p.42-43
	2 工場ではたらく人と仕事	<ul style="list-style-type: none"> 販売や生産の仕事にみられる様々な工夫を具体的に取り上げて、職業と生活との関わりを考えたり勤労を重んずる態度を養ったりすることができるようにしました。〈第2号〉 販売の仕事では、障がいのある人の買い物のしやすさに配慮した商店の取り組みを例示して、地域や社会に暮らす様々な立場の人への配慮について考えることができるようにしました。〈第3号〉 商品の仕入先である外国やそれらの国々の国旗について地図などで調べる活動場面を設け、外国に対する関心高めたり、各国の国旗を尊重する態度を養ったりすることができるようにしました。〈第5号〉 販売や生産の仕事では、食品の安全や衛生を確保することに注意が払われていることを調べる場面を設けて、衛生に対する関心高めることができるようになりました。〈第4号〉 買い物の方法が多様化している現代の社会において、人々は目的や用途に応じて買い方を選択していることを学習する場面を設け、学習と生活実践とのつながりを意識させることができるようにしました。〈第3号〉 販売と生産のどちらの仕事においても、リサイクルや廃棄物の減量が取り組まれていることを学習する場面を設け、環境の保全に寄与する態度が養われるようにしました。〈第4号〉 	p.44-89 p.53 p.56-57 p.52, p.55, p.58, p.70-71 p.62-63 p.59, p.76

図書の構成・内容		特に意を用いた点	該当箇所
3 地いきの安全を守る	1 火事からまちを守る	<ul style="list-style-type: none"> 消防や警察の仕事にみられる様々な工夫を具体的に取り上げて、職業と生活との関わりを考えたり勤労を重んずる態度を養ったりすることができるようにしました。〈第2号〉 消防や警察の仕事が、他業種や地域の様々な人々との協力・連携によって成り立っていることを印象的にとらえることのできる図や写真資料などを数多く掲載して、公共の安全に資する活動の役割や意味を理解することができるようにしました。〈第3号〉 安全を呼びかける標語を考えて発表したり、地域の安全マップをつくって話し合ったりする活動場面を設け、自分の身や暮らす地域の安全を自ら守っていこうとする態度が養われるようにしました。〈第3号〉 	p.92-125 p.100-101, p.106-107, p.122-123
	2 事故や事件からまちを守る	<ul style="list-style-type: none"> 安全を呼びかける標語を考えて発表したり、地域の安全マップをつくって話し合ったりする活動場面を設け、自分の身や暮らす地域の安全を自ら守っていこうとする態度が養われるようにしました。〈第3号〉 	p.109, p.125
4 わたしたちの市の歩み	1 かわる道具とくらし	<ul style="list-style-type: none"> 児童らの暮らす地域に古くから伝わる生活の道具を調べたり体験したりする学習を一定の比重で位置づけて、先人たちの知恵や伝統的な文化を尊ぶ態度を養うことができるようにしました。〈第5号〉 生活の道具が発展してきた様子を学習する場面を設けて、暮らしをより便利なものにしてきた人間の営みに気づくことができるようにしました。〈第2号〉 	p.128-139 p.128-139
	2 市のうつりかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域や市の昔と今を効果的に対比したイラストや写真などの資料を豊富に掲載し、児童が関心を高めながら学習に臨むことができるようにしました。〈第1号〉 児童が興味や関心に応じて活用する「ひろげる」コーナーを設け、多様な事実から地域の様子が時間が経つとともに移り変わってきていることを知ることのできる読み物資料を掲載し、知識を広げたり理解を深めたりすることができるようにしました。〈第1号〉 	p.4-5, p.126-127, p.140-141, p.143, p.145, p.147, p.151 p.156-157
	巻末：3年生の学習をふり返ろう わくわく！社会科ガイド	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年の1年間を通して学んだこと、学習技能、「社会的な見方・考え方」などをふり返るコーナーを設けて、学習した内容や学習に用いた視点を確かめながら、自ら主体的に学習に取り組んでいくための方法を身につけるとともに態度が養われるようにしました。〈第1号〉 	p.158-171

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

◇ユニバーサルデザイン（UD）による多様性への配慮

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

◇パラリンアート

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、各学年の巻頭（もくじ）では、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

◇地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい**再生紙**と**植物油インキ**を使用しています。また、印刷には再生可能エネルギーである**グリーン電力**を使用し、地球環境への負荷の軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-19	小学校	社会科	社会	第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	社会 303	小学社会 3		

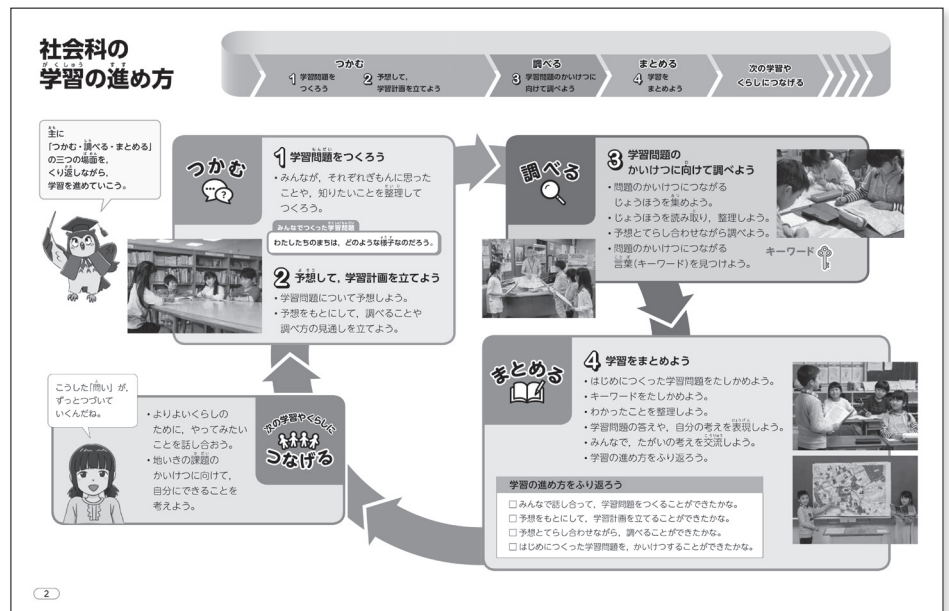
1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 問題解決的な学習に関わる特色

① 問題解決的な学習の進め方をわかりやすく例示

各学年の巻頭に、問題解決的な学習のわかりやすい見取り図を示しました。見通しをもって主体的に学習を進めていけるようにしています。

また、追究の帰結は、次の学習へとつなげるだけでなく、地域や社会にみられる課題の解決に生かしていくものであることも示唆しました。



▲p.2

② 一貫した追究を支える「問い」

単元を通して追究していく問いを「みんなでつくった学習問題」として明示しました。

学習問題の解決に向けた各単位時間の中心となる問いは、「この時間の問い」として明示しています。

がくしゅうもんだい
みんなでつくった学習問題

市の様子は、場所によって、どのようにちがうのだろう。

▲p.23

この時間の問い

市の交通の広がりや、どのようにかわってきたのだろう。

▲p.144

③ 学習問題をつくり、追究の見通しを立てる場面をていねいに例示

「社会的な事象と出会う→気づきや疑問を交流して学習問題をつくる→予想をする→調べること・調べ方の見通しを立てる」という一連の流れを、どの単元でもていねいに例示しています。

児童から引き出したい発言は、会話文で例示しています。例示に際しては、第3学年の発達段階を考慮した児童の思考の自然な流れを重視しています。

市のうつりかわり調べの学習計画

学習問題について予想したこと

- ・鉄道の他に、道路も整えられてきたと思う。
- ・住たく地が広がってきたのではないかな。
- ・市の人口が、ふえてきたのではないかな。
- ・学校や公園が、新しくつくられてきたと思う。

調べること

- ・交通のうつりかわり
- ・土地の使われ方のうつりかわり
- ・人口のうつりかわり
- ・公共しせつのうつりかわり

調べ方

- ・昔から住んでいる人にインタビューする。
- ・市の年表を調べる。
- ・写真や地図などを調べる。

まとめ方

- ・絵カードにまとめる。
- ・年表に書き足す。

次につなげよう

学習の見通しが立ったら、まず、交通について調べよう。だれにインタビューするといいのかな。

▲p.143

▶p.149

④ 問いをつなげて思考の深まりを促す「次につなげよう」

各見開きの末尾に「次につなげよう」を置いています。各時間の中心となる問いの帰結を確かめるとともに、次の時間の中心となる問いに自然につながるようにしています。単元を通した追究の連続や思考の深まりを促します。

次につなげよう

人口がふえると、学校や公園などがひつようになるね。

次は、公共しせつについて調べてみよう。

⑤ 追究の過程を、わかりやすく、ていねいに支援

問題を解決していくうえで必要な学習技能を「学びのてびき」として適宜、紹介しています。技能の活用を通して、「社会的な見方・考え方」を使った学習の意識化が図られるようにしています。

また、ポイントとなることばや概念を、「キーワード」として明示して、追究を促します。

キーワード

● **人口**

かいつ 地いきに住む人の数のこと。

▲p.143

学びのてびき

グラフからうつりかわりを読み取る

- ① たてじくの単位を読んで、その意味をたしかめる。
- ② たてじくのめもりをもとにして、おおよその数字を読み取る。
- ③ 年の順にくらべて、そのちがいを「ふえた」「へった」などの言葉に表す。

▶p.149

② 店のくふうをまともよう

ひろとさんたちは、学習問題にもとづいて、これまでの学習をふり返りました。そして、お客さんのねがいと店のくふうを、かんけい図にまとめ、話し合いました。

「お客さんのねがいと店のくふうは、うまくつながっているのね。」

「お客さんが気持ちよく買い物をするということは、その分、売上げがのびるということなんだね。」

店のマネージャーの最後さんの話

店では、お客様がもめているものや、よろこぶことを、いつも考えています。それに合わせて、さまざまなくふうをしています。お客様に意見を聞いてもらうなど、よりよい店にする努力はかましません。

③ 学びのてびき かんけい図をつくる

① たてじくカードに、「お客さんのねがい」と「店のくふう」を話し合ってから、大きく書く。② 書き終わったらカードを縦向きに、かんけい図のカードを並べ替えて、縦や横にたてず、かんけい図を作ります。③ たてじくカードが縦向きにならないように、「北」の向きを覚えておく。④ カードをテープで固定して、タイトルをつける。⑤ カードどうしのつながりを見て、整理します。

▲p.60-61

⑥ 追究の帰結をしっかりと確かめる

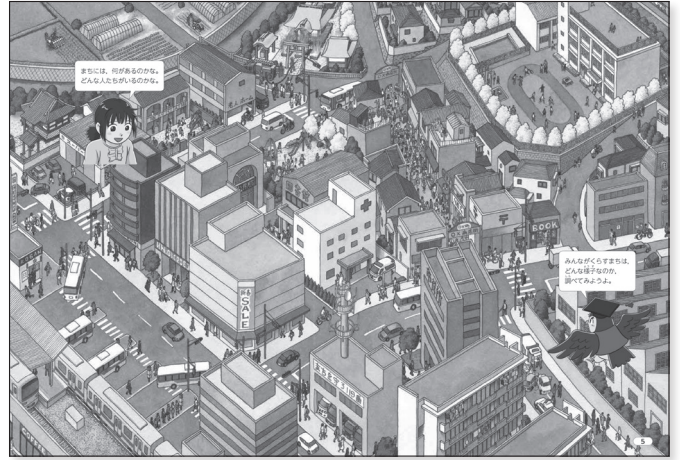
小単元の末尾には「まとめる」を位置づけました。学習問題やキーワードを再掲して、学習をふり返ることができるようにしています。

調べてきたことを関係図などに整理し、それを見ながら対話的な学習を行うことを通して再構成や定着が図られ、深い学びにつながるようにしています。

⑦ 主体的な学習, 「社会的な見方・考え方」を使った学習を促す資料

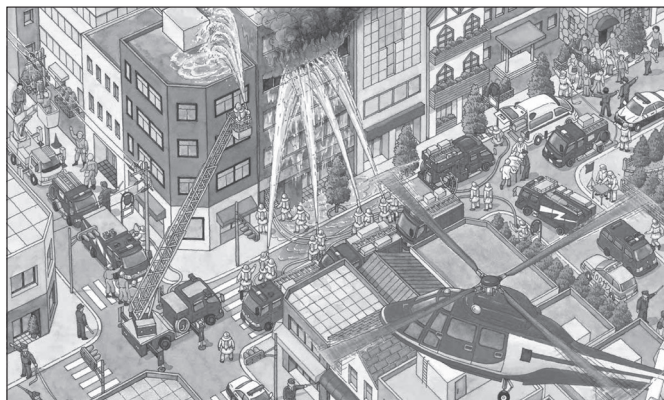
ワイドで精緻な数々のイラストを掲載しています。関心や疑問を引き出し, 児童の主体的な学習を促します。また, 「社会的な見方・考え方」を使った学習を効果的に促します。

▶現代の地域の鳥瞰図(「わたしたちの市とまち」p.4-5) 第3学年の学習に関わる地域の景観や人々ののはたらきなどのさまざまな要素が盛り込まれています。



◀昔の地域の鳥瞰図(「わたしたちの市の歩み」p.126-127) 現代の鳥瞰図と比べることを通して, 地域の様子の変化に対する関心や気づきを効果的に引き出します。

▶スーパーマーケットの様子(「店ではたらく人と仕事」p.51) 店の人々が協力して働いていることや, 買い物にくるさまざまな客のニーズに合わせて工夫して販売していることを読み取ることができます。



◀火災の現場の様子(「地域の安全を守る」p.92-93) 消防署と関係機関が協力して火災に対処していることを読み取ることができます。

2 各単元の特徴

◇ 巻頭

- **生活科をふり返ろう** 社会科への接続という観点から生活科の代表的な学習場面を想起させるコーナーを設け、**生活科と社会科の接続**をスムーズに図ることができるようにしました。
- **社会科の学習の進め方** 問題解決的な学習の進め方を示した見取り図を掲載しました。
- **社会科の見方や考え方** 「**社会的な見方・考え方**」を子どもの問いや発言のかたちで例示したコーナーを設け、社会的な見方・考え方を使った学習を意識して進められるようにしました。
- **他の教科とのかかわり** 社会科と他教科の連携を図りながら学習を進めていくことをイメージするコーナーを設け、**カリキュラムマネジメント**に基づいた学習への活用を図ることができるようにしました。

1. わたしたちのまちと市

- 「身近な地域」と「市」の二つの小単元で構成し、指導時期や発達段階にふさわしい学習活動と、生活科とのスムーズな接続に配慮しました。配当ページ数・時数は市の学習に重点を置いています。

2. はたらく人とわたしたちの暮らし

- 店は売り上げを高めるために努力しているという経済の基礎に関わる考え方を、わかりやすく図解しました。

3. 地いきの安全を守る

- 消防署と警察署を取り上げ、消防署の学習に重点を置いてページと時数を配当しています。
- 第3学年の児童の興味や関心が高まるよう、発達段階に配慮して資料を選定しました。

レジ係の小野寺さんの話

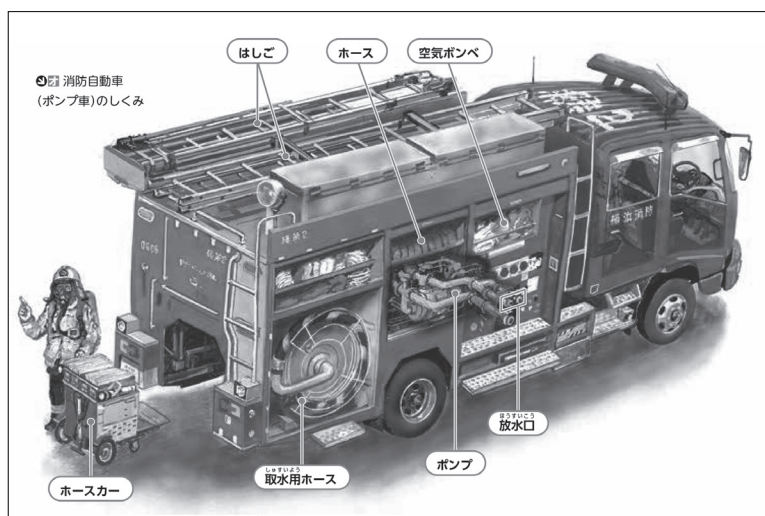
たとえば、お店が、おかしをつくらしているところからチョコレートを70円で仕入れたとしましょう。そのチョコレートを、お店では100円のねだんをつけて売ったとします。そうすると、お店は30円もうかったこととなります。もし、100こ売れたら、何円のもうけとなるでしょうか。

$30円 \times 100こ = \square$ 円

▲p.49

4. わたしたちの市の歩み

- 「道具と暮らし」の学習を小単元の一つとして位置づけ、一定のページ数と時間数を配当しました。体験や活動を通じた学習を重視しています。



▲p.99

③ その他の特色

社会への参画意識を高めることを意図した「つなげる」

「つなげる」は、学習してきたことを生かして児童なりに生活に関わる選択や判断をしたり、地域のこれからのあり方を構想したりして、社会参画に向けて意識を高める活動場面です。(p.62, p.110, p.154)

社会的な見方・考え方をふり返る「3学年の学習をふり返ろう」

学習内容や学習過程、「社会的な見方・考え方」についてふり返る特設ページを設けました。(p.158-)

地域副読本との併用に効果的な「活動」「わくわく！社会科ガイド」

- **活動** 教科書の見開きごとに示した「活動」は、学習の流れをわかりやすくとらえることができるとともに、教科書を地域副読本と併用する際にも効果的に活用できます。
- **わくわく！社会科ガイド** 社会科と初めて出会う第3学年の児童に、校外での活動や地図帳の活用、表現活動などの技能の基礎をガイドします。教科書を地域副読本と併用する際にも効果的に活用できます。(p.160-)

2. 対照表

教科書（第3学年）の単元構成	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1 わたしたちのまちと市	(1)		17
1 まちの様子	ア (ア), ア (イ), イ (ア)	p.4-17	⑦
2 市の様子	ア (ア), ア (イ), イ (ア)	P.18-39	⑩
2 はたらく人とわたしたちの暮らし	(2)		20
1 店ではたらく人と仕事	ア (イ), イ (イ)	p.42-63	⑫
2 工場ではたらく人と仕事	ア (ア), イ (ア)	p.64-77	⑧
2 農家の仕事 (せんたく)	ア (ア), イ (ア)	p.78-89	—
3 地いきの安全を守る	(3)		17
1 火事からまちを守る	ア (ア), ア (イ), イ (ア)	p.92-111	⑩
2 事故や事件からまちを守る	ア (ア), ア (イ), イ (ア)	p.112-125	⑦
4 わたしたちの市の歩み	(4)		16
1 かわる道具と暮らし	ア (ア), ア (イ), イ (ア)	p.126-139	⑦
2 市のうつりかわり	ア (ア), ア (イ), イ (ア)	p.140-155	⑨
		計	70